

1、事業活動報告

- ①川崎市条例指定申請を2021年1月13日に行いました。
2月9日、15日に川崎市市民局の現地調査を経て6月23日川崎市市議会にて認定されました。
又、10月には認定NPOの申請を行い、2022年1月25日認定され、2019年度(第14期)より取り組んできた方針を達成することができました。(＊川崎市NPO応援ガイドに掲載)
- ②今年度総会にて定款変更を行い、4事業となりました。
主な事業の実績は、以下の事業内容一覧にあります。移送サービス・生活支援サービス共に昨年度より件数が増加しました。(移送サービス前年度比113.1%、生活支援サービス前年度比101%)
 - ・移送サービスは入院や死亡が多くありましたが、新規利用者も19名増加しました。
 - ・生活支援サービスは、件数は減少しましたが延時間は、昨年と同じでした。
 - ・利用会員は、前年度61名から68名に増加しました。
 - ・サービス付高齢者向け住宅では、上半期では空き室が見られましたが、下半期では2つの高齢者住宅共にほぼ満室での運営が続きました。一人一人の入居者の生活に寄り添うサービスを行ってきました。(各サービス・事業の詳しい内容については、サービス別の報告をご覧ください。)
- ③移送・生活支援サービスについては、利用者の要望にできるだけ応えられるよう体制強化に取り組みました。移送サービスでは新しい運転ボランティア1名の参加がありました。
- ④NPOレインボーの活動を知らせていく活動としてパンフレットの見直し、NPOレインボー活動ニュース(夏・秋・冬号・春号)の発行、ホームページの更新などを行いました。
- ⑤引き続き正会員・賛助会員入会金、及び年会費、利用会員入会金などの改定について関係事業所、利用者へのお知らせを行い、正会員年会費については全員徴収ができ組織強化を行いました。正会員31名
- ⑥運転ボランティア1名は神奈川移動ネットサービスで研修(2日間)を行いました。
又、「移送料金改定」の説明も含め運転ボランティア会議を3年ぶりに行い、交流できました。
- ⑦市の条例指定・認定NPO申請に伴い、NPOレインボーの寄付金活動を積極的に行いました。
多くの方の協力や支持を得て、個人138名 331,300円、4団体505,000円(合計 836,300円)の寄付金をいただきました。
- ⑧今後のNPOレインボーについて活動全般の見直しや中期的方針について継続した協議を行ってきました。移送サービス料金改定を検討し、川崎市福祉有償運送運営協議会に申請、8/3承認を受けました。
(2022年度4月1日より施行予定)
又、サービス申し込み受け付け日について、4月より週5日から3日に減少させましたが、申し込み件数は減少することなく留守番電話などで対応でき、経費は約30万円減少させることができました。
- ⑨新型コロナウイルス感染予防対策については、引き続き各サービス毎にスタッフ会議や事務局会議などで学習や準備を行いサービスを行いました。

2、事業の内容

主な事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲, 人員	事業費用
①高齢者、障がい者等の通院送迎、入退院・施設への入退所、日常生活の外出支援等の有償移送支援事業	高齢者、障がい者等の移送	通年	川崎市を中心とした地域	6人	・移送支援を必要とする高齢者及び障がい者 1507人 (前年度比 113.1%)	1,645,545 円
②公的な福祉サービスでは対応できない高齢者、障がい者等を中心に有償生活支援事業	高齢者、障がい者等の生活支援	通年	川崎市を中心とした地域	9人	・介護保険外高齢者及び障がい者 100.5時間 (前年度比 101%)	134,250 円
③高齢者、障がい者等の移送、生活支援に関する情報交換及び研修事業	他団体が行う移送、生活支援に関する安全研修	通年	かながわ移動ネットサービス、神奈川ドライバーズネット主催の会	2人	川崎市内在住者でボランティア活動に関心のある方	
④高齢者、障がい者等の住まいの相談及びサービス付き高齢者向け住宅の管理運営事業	入居者への基本サービス提供を含むサービス付き高齢者向け住宅管理全般、相談者に応じた入居情報の提供	通年	「レインボーの家川崎大師町」 「レインボーの家上平間」	10人	60歳以上の単身高齢者、障害者の居住者、および住まいを探している方	7,315,979 円